

私学経営研究会（理事長・校長部会）

私立学校は社会に存在する諸問題に正対し、新しい時代の要請に応えるとともに、人間のあるべき姿を追い求めながら教育を続けてきましたが、依然として私学を取り巻く環境は厳しさを増しています。そのような状況においても、東京の私立学校がよりよい教育環境を構築するための一助としていただきたく、今年度は以下のようなプログラムをご用意いたしました。

「学校における働き方」への関心が高まっておりますが、私学の財産の一つは間違いなく教員です。今回は名川・岡村法律事務所の弁護士をお招きし、学校における労働問題についてのご講演をお願いしました。分散会も通じて、私学の特性を踏まえたご指導をいただきながら、問題の共有と解決をはかります。

A I の進展とともに、社会から見た教育のとらえ方や、政策決定のありかたが変化しています。そこで今回は、朝日新聞編集委員の氏岡 真弓 氏にご講演をお願いし、教育と社会の関係性の現状と予想への理解を深める機会を設けました。

そして、東京私立中学高等学校協会 實吉 幹夫 副会長のコーディネートのもと、文部科学省が進めている高大接続改革における検討・準備の各部会のメンバーとして関わってきた協会副会長 3 名によるパネルディスカッションを実施します。未来を生きる子どもたちに求められる力とそれを伸ばす教育のあり様について議論を深め、教育が変換点にある今、私学の真価について改めて考えます。

今年度より理事長校長職に就かれた方にも、経験豊かな方にも、重責を担っておられる皆様にご満足いただける充実した内容となることと存じます。あわせて共に語り合い、和やかに親交を深める貴重なひと時ともなることと思われまます。ご多忙の折とは存じますが万事お繰り合わせのうえ、ぜひご参加いただきますようご案内申し上げます。

1. 研究目標 私学が目指す『共に生きる』新たな教育
2. 会 期 7月26日（木）・27日（金）・28日（土）の2泊3日（現地集合・解散）
3. 研修会場 海石榴（神奈川県奥湯河原温泉）〒 259-0314 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上776
TEL：0465-63-3333 <http://www.tubaki.net>
4. 宿泊会場 山翠楼（神奈川県奥湯河原温泉）〒 259-0314 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上673
TEL：0465-63-1111 <http://www.sansuirou.co.jp/>
※ 両会場は徒歩2分ほどの位置関係です
5. 募集定員 50名（理事長・校長・副校長等）
6. 参加費 57,000円（2名1室利用。宿泊費〈2泊5食〉、資料印刷費、懇談会費）
7. 日 程 7月26日（木） 13:00受付開始 13:30開会式
7月28日（土） 11:30閉会式終了予定

| 時間 月 日 | 9 | | 10 | | 11 | | 12 | | 13 | | 14 | | 15 | | 16 | | 17 | | 18 | | 19 | |
|-----------|--------|-----|----|-----|-------------|----|----|-------|--------|-------------|-----------------------|------------------|------|--|----|----|----|--|----|----------------|----------------|--|
| 7月26日（木） | | | | | | | | | 受 付 | 開 会 式 | テ ィ シ ョ ン | オ リ エ ン | 講演 I | | | | 休憩 | | | | 夕食 ・ 懇談会 | |
| 7月27日（金） | 朝 食 | 報告 | | 分散会 | | 昼食 | | 講演 II | | | | 分科会 | | | | 休憩 | | | | 夕食 ・ 懇談会 | | |
| 7月28日（土） | 朝 食 | パネル | | | 閉 会 式 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※プログラムの間には小休憩を設けます。

8. 研究内容

① 講演Ⅰ (26日 15:00~17:00)

「学校における労働問題について」

講師 名川・岡村法律事務所 弁護士

② 報告 (27日 9:00~10:00)

「最近の私学関連の情報提供」 東京都生活文化局私学部

③ 分散会 (27日 10:15~12:00) 講演Ⅰと報告を受けて

グループに分かれ、労働問題を中心に各学校で抱えている課題について意見交換をします。またグループごとに名川・岡村法律事務所弁護士より、その課題についての適切なアドバイスもいただきます。

④ 講演Ⅱ (27日 13:00~15:00)

「2020年改革を考える」

講師 氏岡 真弓 朝日新聞編集委員

⑤ 分科会 (27日 15:15~17:00)

下記テーマごとに、参加される方の話し合いたい事柄や話題に合わせて進行いたします。参加申込書の分科会の欄で希望する方のテーマに○印をお付けください。なお1グループの人数は5~7名ほどの予定です。

学校運営 学校運営に関わる事柄全般について話し合います。

教員の「学校における働き方」(部活動やメンタルヘルスなど)に関することや、生徒への特別な配慮(発達障害やLGBTなど)を要する場合などへの対応、その他、危機管理や保護者対応など、申込書に記載していただいた内容も含め、よりよい教育体制や環境の構築に向けて参加者同士でディスカッションをします。

教育改革 講演Ⅱ「2020年改革を考える」の内容も踏まえながら、高大接続改革などの教育改革の動向に関する事項を中心に話し合います。

新学習指導要領や2020年度からの新しい大学入試、学力の3要素の育成や評価(eポートフォリオなど)、その他、ICT教育対応や道德教科化等、申込書に記載していただいた内容も交え、教育内容や方法についての検討や情報交換をします。

⑥ パネルディスカッション (28日 9:00~11:00)

「私学の真価 ~教育改革の動向を見据え、これからの私学教育を考える~」

パネリスト 平方 邦行 東京私立中学高等学校協会 副会長
清水 哲雄 東京私立中学高等学校協会 副会長
長塚 篤夫 東京私立中学高等学校協会 副会長

コーディネーター 實吉 幹夫 東京私立中学高等学校協会 副会長

9. 委員 (順不同)

委員長 高橋 博 (聖パウロ学園) 實吉 幹夫 (東京女子学園)
増田 幹子 (駒場学園) 敷島 洋一 (青山学院)
山本 慈訓 (世田谷学園) 矢野 東 (八王子実践)
吉田 珠美 (三輪田学園)